

特定臨床研究「OLEA ワークステーションにおける脳画像解析研究」に参加し

ていただける健康ボランティアの方を募集しています。

当院では、2019年にキャノンメディカルシステムズ株式会社の最新型のMRI装置を導入し、得られた画像を同社のOLEAワークステーションによりコンピューター解析できる環境を整えました。OLEAワークステーションには、各種の脳解析機能が搭載されており、多様な情報を得ることができます。

本研究では、MRI装置で得られた画像をOLEAワークステーションで解析し、病気診断に役立つ新たな知見を得ることを目的としています。これにより、研究対象者の方の身体的負担の少ない非侵襲的なMRI検査により、より正確な病気診断に繋がる可能性があります。

通常の診療では、一般的にはMRI撮影で得られた画像のみで診断が行われています。しかし、画像解析を加えることにより、単にMRI画像だけでなく、追加の情報が得られる可能性があります。

また、得られた情報を正當に評価するためには、異常所見がある場合のみでなく、健康ボランティアさんの情報とも比較することが重要と考えています。

今回の研究では、幅広い年齢層の研究対象者さんを募集しています。18歳以上であれば参加可能です。健康な年輩の方も募集しています（もしお知り合いに年輩の健康者の方がおられましたらお声掛けいただければ幸いです。）

実際の研究の流れは以下の通りです。

本研究のボランティア候補として京都大学医学部附属病院MRI検査室（第3MRI検査室）にお越しくくださった方には、当日、次のような手順で研究を進めます。

- ① 検査担当医師より研究内容の詳細説明、同意意思の確認
- ② MRIに対応していない金属の有無の確認
- ③ 検査着へのお着替え
- ④ キャノンメディカルシステムズ社製3テスラMRI装置による撮像
- ⑤ 着替えて終了

同意の意思とMRIに対応していない金属がないかを確認した上で、キャノンメディカルシステムズ社製3テスラMRI装置にて脳の撮像を行います。撮像時間はおよそ30分ほどを予定しています。本検査は、造影剤や薬剤の使用のない、非侵襲的な検査です。

当日は、各脳解析用のための撮影を行います。いわゆる脳ドック検査とは異なりますが、脳ドックで行われるような撮影の一部は、撮影領域の調整のために撮影されます。

後日、研究責任者・研究分担者が、得られたMRI画像をOLEAワークステーションで解

析し、精度評価、臨床所見との対比などを行います。

**皆様に確認していただきたいこと。**

本研究のボランティアは中枢神経領域の病気がない方をお願いしております。よって、何らかの脳疾患を有する方、もしくは、その疑いのある方は研究対象者とはなれません。また、現在治療中のご病気がある方も研究対象者とはなれません。過去に治療された病気がある方で、完治されたと診断されている方の場合は研究対象者となれます。ご判断に迷われる場合は下記の連絡先にお尋ねください。

MRI 対応でない体内金属が入っている方は研究対象者とはなれません。体内金属が入っている方で MRI 対応であるかどうかわからない方も研究対象者とはなれません。

閉所恐怖症の方、妊娠中や妊娠の可能性のある方も研究対象者とはなれません。

謝礼はありません。

今回の撮影によって偶然に異常が見つかる場合もありますが、その場合は、当日説明用紙にても説明しますが、ご自身で関連する医療機関に受診していただくことになります。紹介状などは書けませんのでご注意ください。

ご興味のある方は、下記までご連絡ください。

京都大学医学部附属病院 放射線診断科 (研究責任者:伏見育崇医師)

(Tel) 075-751-3760 (E-mail) [diag\\_rad@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:diag_rad@kuhp.kyoto-u.ac.jp)

なお、本研究に参加する研究者とキャノンメディカルシステムズ株式会社との間には以下の利害関係があります。

「キャノンメディカルシステムズ株式会社と京都大学の共同研究契約により設置された産学連携講座に所属し、給与を得ている研究者が参加している。」